

戦国屈指の知将

小早川隆景

ものがたり ⑫



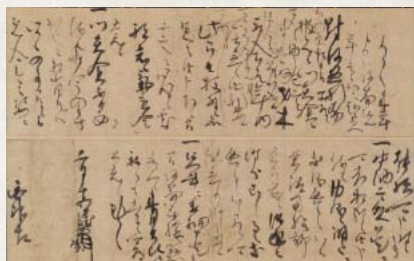
三原城を築き、現在の三原市の礎を築いた小早川隆景。広報みはら最終ページでは「小早川隆景ものがたり」を連載し、みなさんと一緒に隆景の生涯をたどってききました。今月号が最終回です。

破格の隠居料

豊臣家から養子に迎えた秀秋に家督を譲り、三原で隠居生活を送ることを決めた小早川隆景。秀秋を養子として引き取ったことや、これまでの功績などを理由に、豊臣秀吉から当時としては破格の隠居料を与えられました。

三原城の修築

隆景が古くから仕えた家臣たちと三原に戻ってきたのは文禄4(1595)年11月25日ごろのこと。これまで伊予国(現在の愛媛県)の湯築城、筑前国(現在の福岡県)の名島城へと居城を移してきた中、久しぶりに本拠地・三原に落ち着いた気安さからか、永禄10(1567)年に築



▲三原城の建築工事についての指示が書かれています(小早川隆景書状・大阪城天守閣所蔵)

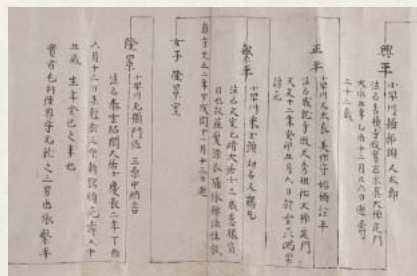
また、隆景は新高山城にあった台所の木材を材料に佛通寺の

隆景の死去

大庫裡の再建を始めるなど、寺社の再建にも力を入れました。

隠居したとはいえ、まだ豊臣政権の政治の中核を担う大老であった隆景。慶長2(1597)年3月に秀吉から京都に来るよう促されていますが、すでに体の調子が良くなかったのか、養生中だからと延期してしま

す。江戸時代に記された軍記物語『陰徳太平記』によると、同年6月12日、隆景は京都へ行く途中で三原城に寄った音戸瀬戸(現在の呉市)の迫門因幡守に用事を申し渡した後、涼を求めて昼寝。起きてから家臣たちと詩を詠んでいたときに病の発作が起こり、医師の到着を待たず、息



▲家系図からも隆景が65歳のときに三原城で亡くなったことがわかります(小早川家系図・米山寺所蔵)

を引き取ったとされています。享年65歳。死因は脳卒中といわれています。

隆景の遺体は法常寺で荼毘に付され、米山寺に葬られました。

おわりに

黒田家の公式記録である『黒田家譜』によると、秀吉の家臣であり、隆景の良き理解者であった黒田孝高は、隆景の訃報を受け、「日本に賢人はいなくなつた」と嘆き、秀吉は「日本の蓋しても余りある人物であった」と述べたと記されています。

隆景が亡くなった後も、三原は陸路と海路の両方の要所として発展を遂げました。三原の礎を築いた隆景の功績や人柄、そして三原の歴史を後世に伝えていきましょう。

参考文献

- 『三原市史 第二巻 通史編』昭和52年 編集兼発行 三原市役所
- 『黒田家譜』昭和55年 貝原益軒編 株式会社歴史図書社発行

文化課

☎0848-649234

三原市の人口(1月31日現在)
※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	43,813 世帯 (-200)
人口	95,582 人 (-1,291)
男	45,776 人 (-682)
女	49,806 人 (-609)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

窓口を延長しています

とき 木曜日19時まで
内容 住民票・戸籍・印鑑登録
証明書の発行、パスポートの
交付、市税の納付、納税相談

問い合わせ先 市民課(☎0848-67-6047)、税制収納課(☎0848-67-6035)

航空機の騒音測定結果(1月分)(Lden)
▶正広局(本郷町善入寺正広)=52.4
▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.3

あ・と・が・き
夢 がかないました。映画やっ
舞台あいさつで三原映画をつく
る会の岩本さんは涙をこらえて
こう話しました▼私の夢の1つ
も実現しました。甲子園をめざ
し瀬戸内高校で監督を続ける三
原市出身の友人がその切符をつ
かんだのです。選抜甲子園への
出場が決まった翌日、新聞には
夢をつかんだ長谷川監督の記事
が紙面を飾りました▼夢の形は
それぞれ違うけれど、映画やっ
さざるマンには多くの人の夢と
希望が詰まっています。見逃し
た人は4月に三原で見られるチ
ヤンスが残っています(H)